



志布志市

市議会だより



発行：鹿児島県志布志市議会
編集：広報等調査特別委員会
〒899-7492
鹿児島県志布志市有明町野井倉1756番地
TEL 099-474-1111(内線311)
FAX 099-474-0363

<http://www.city.shibushi.lg.jp>



みなとまつり

6月定例議会を開きました……………	2
各常任委員会での質疑・答弁 ……	2～5
一般質問に14議員登壇 ……………	6～19
議員控室……………	20
傍聴席……………	20

編集後記……………	20
-----------	----

TOPICS

6月19日、20日、21日に一般質問が行われ、14名の議員が施政方針などについて質問しました。





平成18年6月定例会は、6月12日から7月3日までの22日間開かれ、一般会計・国民健康保険特別会計補正予算、条例など議案27件を可決、陳情書を5件採択し、JR九州に係る支援策等に関する意見書、ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書、出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書を国に提出しました。
一般質問は19日、20日、21日の3日間にわたり、14議員が施政方針に対し、農業・港湾・観光・環境・福祉・スポーツ振興・教育問題などについて質問しました。

志布志港振興対策等調査特別委員会

志布志港の整備利用促進及び都城・志布志道路等高規格道路の建設促進に関する調査並びに志布志港を核としたまちづくり等の調査を行うための特別委員会を設置した。

農業・農村活性化対策等調査特別委員会

議会自ら市内外の農業・農村の現状と実態を把握し、今後の農業・農村の振興、活性化に向けた課題と対策を提言することを目的に特別委員会を設置した。

陳情第13号の活性化対策についての調査特別委員会

産業廃棄物処分場の誘致陳情に対して、調査を行うための特別委員会を設置した。

総務委員会での質疑・答弁

志布志市国民保護協議会条例の制定について

Q 地下鉄サリン事件・国際テロ等も想定しているのか。

A 当然対象となる。

Q 35名の構成メンバーは。

A 鹿児島海上保安部志布志海上保安署長、陸上自衛隊第12普通連隊第1中隊長、県大隅合庁所長ほか4名、助役、教育長ほか部長等12名、大隅管区地区消防組合消防長、指定公共機関2名、その他市内の各種団体長11名予定している。

Q 市民に内容を十分周知させるべきと思うが。

A 市民への説明会、広報等により住民の方々への周知、対応等について実施したい。

志布志市安全・安心まちづくり条例の制定について

Q 市民の生命、身体又は財産に危害を及ぼす犯罪、交通事故及び災害を未然に防止する目的であるが、滞在する者等は観光客等か。

A 市内に観光や仕事等で宿泊滞在されている方である。

指定管理者制度へ移行する公の施設の条例

一、志布志市議の郷条例の制定について

一、志布志市タグリ公園の公園施設管理条例の制定について

一、志布志市有明開田の里公園条例の制定について





志布志市出身の綾小路きみまろさん公演

◎一般会計補正予算案
1号)関係の質疑

Q 統計しぶしの配布
先、配布時期は。

A 500部印刷し、関
係自治体、学校関係、市
内の公共施設に、12月末
までに配布したい。

Q 志布志市誕生一周年
記念式典予算が、745
万円計上してあるが。

A 綾小路きみまろさん
の公演料、式典の設置委
託料、招待者への記念品
代、市の歌採用者賞金で
ある。

Q 消防ポンプ車につい
て古いのが多いと思う
が、まとめて購入できな
いか。

A 補助事業がなく、本
年度は2台購入予定であ
る。

今回、総務委員会に付
託された議案は、賛成多
数をもって可決され、本
会議でも可決された。

文教厚生委員会での質疑・答弁

志布志市国民
健康保険税
例の一部を改
正する条例の
制定について

Q この改正
案は医療費が
大幅に増える
ため税率等を
改正するもの
である。医療
費増大の原因
として老人医
療受給者の年
齢が70歳から
75歳に引き上
げられたこと、3歳未満
の子どもの自
己負担が3割
から2割にな
ったこと、高
齢医療費がこ
こ1年間で2
億に達してい
る。今後とも
その傾向にあ
ることなどが
上げられる。
保険税の必
要額は11億
9,115万
円で、それを
満たすために
所得割税率が
9.1%、資

産割が37%、均等割が2
3,000円、平等割が
22,000円になる。
また、介護納付金の必要
額が1億1,922万6
千円で、それを満たすた
めに所得割が2.4%、
資産割が3%、均等割が
9,300円、平等割が
5,300円となる。

Q 住民の負担はどう変
わるのか。

A 一世帯当り松山町で
4,640円、志布志町
で15,326円、有明
町で3,432円、一人
当たりで、松山町で9,
448円、志布志町で7,
054円、有明町で2,
844円負担増となる。

Q 市民の皆さんに納得
してもらえるのか。

A わかりやすい資料を
準備し、機会あることに
説明をし、理解を得られ
るようになりたい。

志布志市国民健康保険特
別会計補正予算(第1
号)

補正額8,773万4
千円を追加し、総額を41

億1,912万9千円と
するものである。

Q 繰越金が減ったのは
なぜか。

A 医療費が当初の推計
より増大したためであ
る。

志布志市老人保健特別会
計補正予算(第1号)

補正額1億8,067
万1千円を追加し、総額
を50億3,539万1千
円とするものである。

一般会計補正予算(第1
号)関係の質疑

Q 志布志陸上競技場の
整備はいつからか。

A 本年8月半は過ぎか
ら始めて来年3月末まで
かかる予定である。それ
までは他の施設を利用し
てもらいたい。

Q 小中学校のパソコン
導入は具体的に成果が出
ているのか。

A 特に学力が上がった
というデータはないが、
パソコンを使える環境が
整うことにより子どもた
ちに興味や関心が高ま
り、学力向上が見込まれ



陸上競技場改修説明を受ける文教厚生委員

るため市内全校に取り入
れたい。

Q 松山の歴史民俗資料
館のアスベスト撤去の処
分先は決まっているの
か。また費用はこれで十
分か。

A 処分先はこれから決
めることになる。費用は
十分計上してある。

Q 校区自治会敬老行事
は校区全体での実施は難
しいのではないか。

A 校区で企画したもの
を各地区で実施してもら
えばよい。必ずしも全体
でしなればいけないと
いうことではない。

志布志市過疎地域自立促
進計画の策定についての
主な質疑

Q 山岡部の小規模校の
今後の課題をこのように
捉えているか。

A 今後は学校の再編を
見据えた統廃合、学校運
営、学校のあり方をさら
に検討していく必要があ
る。

Q 学校のあり方につい
ての検討委員会を早急に
立ち上げるべきではない
か。

A 庁舎内に事務局を
あき、外部からも委員
になってもらい、でき
るだけ早く設置したい。

Q 開かれた学校と、こ
どもの安全、防犯対策の
どちらを優先するか苦慮
していると思う。教育委
員会としてこのように指
導しているのか。

A 校長会で安全確保を
お願いしている。このよ
うな矛盾した課題の中
で、学校へは、まず命を
守ることを最優先に判断
力をつけるよう指導して
いきたい。

Q 学校給食センターは
19年度に実施となるとい
るが、進捗状況は。

A 平成20年4月稼働を
目標に県と協議してい
る。

Q 図書購入について
の考えは。

A 現在15〜16万冊の蔵

書がある。今後も新刊図
書の購入を考えている。

Q 志布志文化会館の今
後の改修計画の内容は。

A 平成19年度に空調関
係、20年度にイスの改修
を計画している。

Q こみステーションの
設置については要望があ
れば対応できるのか。

A まとまった世帯数の
要望であれば対応した
い。

Q 地域包括支援セン
ターの場所は利用してい
くのではないか。

A 志布志支所の3階と
いう場所については今後
の検討課題である。

Q 保育所の民間への移
管についての考えは。

A 市立保育所の職員
皆さんもがんばっている。
子育て支援を重要な
課題として考え、行動
計画を策定していく。

Q 保健福祉センター整
備事業の内容は。



志布志文化会館改修説明を受ける文教厚生委員

A 旧有明町時代より構
想があったものだが、内
容については今後検討し
ていく。

指定管理者制度に関する
条例について

当選管理委員会に関する
次の施設は、本年9月1
日より指定管理者制度を
導入するところになりま
した。

- シルバークラブプラザ
- 青少年館
- 農業歴史資料館
- 松山町関係
 - 老人福祉センター
 - 老人憩いの家
 - 城山運動公園
- 志布志町関係
 - 健康心れあいプラザ
 - 志布志運動公園

なお、農業集落排水処
理施設は直営で管理する
こととし、一部を業務委
託するところになりまし
た。

有明町関係

- 母島田原集会所
- 市民センター

環境審議会条例について
(即決審議)

環境基本法第44条の規
定に基づき「志布志市環
境審議会」を置くことに
なりました。

今回、文教厚生委員会
に付託された議案は、賛
成多数をもって可決さ
れ、本会議でも可決され
た。



産業建設委員会での質疑・答弁

志布志市と畜場事業積立基金条例を廃止する条例の制定について

志布志市食肉センター条例を廃止する条例の制定について

財産の無償譲渡について

本年3月議会におきまして、志布志市食肉センター無償譲渡に関する情報が採択されたことを踏まえ、三の議案を一括審議し採択した。

食肉センターでの主な質疑

Q BSEに関する施設改善の内容は何か。

A 危険部位の換却施設の更新、牛のこ舎（牛マン）の改善、冷感施設の増設等がある。

Q 施設投資はどのくらいしているか。

A およそ5億8千万円である。

執行部への主な質疑

Q 譲渡条件について目的に使用しなくなつたときは、返還するようになっているが。

A 補助事業で取得した施設を無償譲渡する場合、補助事業の目的を引き継ぐことが条件となるので、そのことを引き継がせるため、市に返還することをお条件としている。

万が一、この事業をしなくなつた場合においても、市が有償で買い取ることも、用地に集積することや、用地に集積することがないよう措置する。具体的にはその時点の評価額に基づき、市に返還する。

平成18年度志布志市と畜場事業特別会計補正予算について

Q 基金を一般会計に繰り出すことだが、使途は何か。

A 主に肥育経営安定対策貸付基金、乳用牛導入貸付金、優良種畜保胎導入事業である。

志布志市畜産指導センター条例の制定について

Q 2つのJAがあるが連携はどうか。

A 今更で同じ体制でいい。

Q 管理委託する意義と効率性は。

A 市の畜産委員会の運営をしないといけない。

公の施設の管理は、地方自治法の改正に伴い、平成18年9月1日までに指定管理者制度の導入が必要

志布志市やちゅくふるさとと村条例の制定について

Q 指定した業務を今後もするの

A 継続して行うため条例を制定した。

修繕費条例の制定について

Q 今更での修繕はいつしていいか。

A 農業公社が行っている。

土地改良事業の施行について

基幹水利施設は大規模な施設のため、土地改良区での維持管理は無理があり、国と土地改良区が管理の委託契約をして、国と市が委託契約し、さらに市が土地改良区と再度委託契約して、市と土地改良区が一体となって管理する。

志布志市週縁地域自立促進計画の策定について

Q 低コスト茶産地育成事業だけでなく、色々な作物に対応すべきでは。

A 他の作物については必要があれば検討する。

A 通行に障害がある場所などを修繕し、標準的の整備を促すこと。

平成18年度志布志市一般会計補正予算（第1号）

Q 特殊地下埋設物事業の制度は、今後も続くか。

A 調査の結果、何箇所もあるが、埋設物除去の危険性がないため、今回も小地地区のみである。

Q 住宅の老朽化がひどい中、建替えの計画はどのようになっているか。

A マスタープラン、ストック計画をし、財源を充てて基本的に見直し。

今回、産業建設委員会に付託された議案は、賛成多数をもって可決し、本会議においても可決された。



無償譲渡される食肉センター

志布志市農業管理センター及び新規就農者研

Q 県道の改良率が悪いが、県に要請しているか。



志布志港は、人と物の交流拠点としての整備が必要



議員 隈 塚 賢

定塚弘文議員 まちづくり

り委員会の提言による
と、新市は豊村地域として
の振興が図られてきた
松山・有明と、志布志港
を中心商業、物流地域
として振興が図られてきた
志布志が一体となるもの
である。提言でも示さ
れている志布志港は「物
流は盛んだが、人が寄り
付きがたい」、「人と物の
交流拠点としての整備が
必要」とあるがどうか。

港湾管理者に働きかける

市長 大型観光船、自衛
艦寄港、国内外の観光客
及び船員が憩いの場とし
て、市民が多目的に利用
できるような港湾管理者に
働きかけを。

**港に寄せる漁民の精神を
大事に**

問 漁業協同組合と十分協議

設置の目的と、基金の残
高はいくらか。

**漁業協同組合と十分協議
を重ねていく**

市長 基金の運用益を漁
協に補助して漁業振興を
図る為の財源として活用
してきたが、今後も継続
的に取り組む。五月末現
在約7,719万である。

八木の販売所が必要

問 漁協から八木の販売
所についての要望があつ
たが、予算計上されてい
ないがどうか。

積極的に導入検討する

市長 検討、協議中で、
9月議会で提案したいと
思う。

**海の駅レストラン建設と
うなったか**

問 3月議会の所信表明
で、海の駅レストラン建
設を表明されたが、その
後どうなったか。

是非とも実現させたい

市長 私の任期中、実現
化の為に取組んでいき
たい。

助役 ハモの販売所及び
海の駅レストランについ
て、地域漁業振興に資す

る施設ですので、県に伝
え働きかける事が私の役
割の一つだと認識してい
る。

**志布志への車両出入が増大
したが、対策は万全か**

問 港からの車両の出
入の急増により、国道
220号「末野病院」
とのタッチについて、
政治的な解決が求めら
れると思うがどうか。

交通渋滞解消を図る

市長 現況を詳しく説明
し、県に対して拡幅等の
早急な実現化に向け、働
きかけていく。

港湾に係る税収は

問 平成17年度決算での
港湾に係る税収「とん税
固定資産税等」はいくら
であったか。

市長 合計5億2,97
2万6,708円である。

学校行政について

問 市内25校の小中学校

の現況をどのようにさら
えているか、将来を見据
えた学校教育の一端につ
いて、教育委員会として
の考え方を示せ。

**子や孫が独り立ちする為
に、長期的展望から取り
組む**

教育長 志布志中、志布
志小、香月小以外は全て
小規模であり、特に四浦
小、八野小、森山小は極
小規模である。学校存続
の議論だけでなくことま
らず、誠心誠意取り組む。

検討委員会の立ち上げ

問 施政方針で小中学校
の今後について検討委員
会を設置すると示された
が、内容は。

**本市の教育行政のあるへ
き姿を追求する**

市長 市民や専門家の意
見を聴取しながら、教育
委員会と相談して進めたい。

教育長 9月議会前後

動き出したいと考える。



埋め立てが進む新志布志港

公約について市長の考え方、 取り組み方、政策は



立平議員

立平利男議員 本田市長の後援会報の中で、本田修一の政策提言として公約がなされた。また、3月定例会の所信表明、本定例会の施政方針に基づいて市長の考え方、取り組みを伺いたい。まず初めに市民が輝くまちづくり、テーマは共生、協働、新自治会組織を中心に地域活性化プロジェクトを立ち上げて、地域刷新事業とある。自治会の活力が市政発展の力だと思いが支援策は。

校区自治会の活性化を促進する

市長 地域が輝けば町が輝くという視点から志布志地域で既に取り組みされている心ある校区委員事業、また、有明地域で取り組んでいた、むら再生事業を、市全体に拡大し活動促進と育成に取組

む。
新しい産業振興は

問 今までの発想を越えて行政が住民や企業団体と一体となり、新しい事業、クリーンエネルギー産業、バイオマス産業、環境関連産業を起こし支援するところだが、市長の発想が見えないが今後の支援をどのように展開するのか。

バイオマスタウン構想を作成

市長 農林水産物のバイオオマスの環づくり交付事業による、バイオマスタウン構想を作成し、この構想に沿って、事業を導入し支援していく。

循環型農林水産物の取り組みは

問 全国でも、評価が高い畜産物やお茶、うなぎ、メロン、イチゴ、ピーマンなどの園芸作物等、安心、安全なブランド化を一層推進し、加工関連事業を絡めた循環型農林水



子育て教育事業

市長 子育て中の親、子育てに関わる人、かわった人等から、どのような支援策が必要か、意見を聞き、実態を把握して、子育て支援策をつくっていく。

港の発展が市の発展に

問 未来に向けて、世界の中の国際交流都市を目指して、あらゆる可能性を展開するため「SHIBUSHIプロジェクト」の体制づくりを取組むところだが、志布志港の発展が市の大きな発展になると思っているか。

調査研究する

市長 長期的、将来的な展望を述べるべき、港の有利性を活かすため、国際交流拠点の整備は重要な課題である。あらゆる地域特性を精査可能性を展開するため、産・学・官・民による「SHIBUSHIプロジェクト」を立ち上げ、調査研究をしていく。

本物の農林水産物を

産業へと発展させることであるが、新規事業等、考えているか。

市長 安心、安全な農林水産物の生産は、環境保全型農林水産物の推進なくしては実現できない。

女性の農業における役割は多岐にあり、志布志市農業農村家業再生支援事業を今回創設した。

子育て日本一のまちづくりは

問 安全、安心、幸せ、健康な町づくりの中で、市独自の子育て支援策、児童手当、保育支援などを拡充し、良書を通して健康な子どもを育ていくところだが、市独自の子育て支援策は。

国の子育て支援策を見極めた上で

畑かん営農について



追田 議員

畑かんを利用した作目の選定や水利用計画は

追田正弘議員 曾於南部地区の18年度一部通水、曾於東部地区の19年度完全通水に向けて、営農類型や作目選定及び水の利用計画についての考え方は。

露地で十二、施設で八の品目を推進していく

市長 曾於地域畑かん営農推進本部が中心となり、積極的に水を活用した畑作営農の早期定着化のための営農指針を作成し活動を展開している。

露地の十二品目は、ニンジン、キャベツ、大根、茶、ゴボウ、パレイシヨ、サツマイモ、サトイモ、カボチャ、ハクサイ、葉タバコ、飼料作物。施設の八品目は、カボチャ、メロン、ナス、一万ツル、

キウリ、ピーマン、イチゴ、菊類である。

営農類型は十三種類に定めた。

水は、水利用効果が高く収益性の高い品目の導入及び作付け体系の確立、すでに産地化された品目の増収及び高品質化のために活用を図る。

市長 曾於東部地区は19年度より完全通水、南部地区は有明町野神、蓬原地区を含む全体で千ヘクタールが通水可能になる。

維持管理費については国営造成施設の運転、操作等の業務を委託し、国の指導のもとに市と土地



畑地かんがい用ファームポンド

問 施設管理や水の使用料はどうか。

市と土地改良区が管理していく

改良区が連携を図り完了後の維持管理をしい

水の使用料は東部、南部とも同じ10ファール当

り、普通畑3,600円、ハウス6,000円、茶12,000円である。

問 茶に対する使用料は高いという反発の声があるが。

改良区を中心に検討する

市長 本市のみの独断で今回引き下げるとなると他の市町に迷惑がいく。完全通水後諸情勢の変動受益者の意見等があるので改良区を中心に検討していかなければならない課題である。

廃止バス路線はどれ

問 岩崎バス赤字路線廃止届が提出された、志布志市に係る廃止路線は、今後の見通しはどうか。

県と協議し動向を見守りながら検討していく

市長 志布志、野方線、志布志駅前〜四浦〜吉原入口線、馬庭〜串間仲町線、志布志港〜志布志港入口線の廃止届出がされ

ている。

県バス対策協議会の実態調査を踏まえ、路線等存続及び廃止の場合の代替方法について協議検討する。

福祉タクシー事業を志布志地区においても検討中であるが、バス路線廃止問題に絡んで広域的な視野に立った公共交通対策の早急な検討が必要だ。

米軍基地廃移転について

問 米軍の空中給油機訓練計画について市長の見解は。

断固反対を表明している

市長 志布志市にとって重要な問題だ。

米軍の駐留により鹿屋基地の形態が変わり、騒音被害、事故危険性、住民生活、畜産産業への影響が懸念される。

基地機能の強化拡大につながるこの理由で断固反対を表明している。

枇榔島払い下げに努力を



立山議員

立山 静幸議員 枇榔島は、市のシンボルとして、また、文化、経済面で大きく寄与してきた島である。また亜熱帯植物群の北限の島、わが国の天然記念物の中でも代表的な原始林、埋蔵文化財指定の島でもある。教育面から人々を呼び込む滞在型観光及び体験型観光地として、合併を節目に払い下げは考えていない。

国、県への協議、庁内で十分な検討

市長 志布志沿岸沿いの住民は、枇榔島をシンボリック的存在として見守ってきた。天然記念物の中でも代表的な原始林は、亜熱帯植物群の宝庫である。国、県への協議も含め、庁内で十分検討協議を重ね、その方向付けをしたい。

枇榔神社の立ち入り許可を

問 明治5年に安楽村の船磯浜神社として合祀、昭和27年7、001mを大蔵省から譲与、現在志布志漁協が管理している。この枇榔神社に自由に立ち入りできるようにできないか。

漁業協同組合に相談

市長 志布志漁協と相談したい。

国際の森周辺市有地の有効利用は

問 旧松山町でグリーン・ツーリズムに取り組

問 ゴルフ場計画中止により取得した土地、244筆、約30ヘクタールの有効利用を示せ。

商工観光戦略会議で

市長 点々とした約30ヘクタールの土地の有効利用については、商工観光戦略会議で協議検討したい。

グリーン・ツーリズムで体験型観光を

姉妹都市協約の計画は

市長 商工観光戦略会議の中で、農業者、漁業者、商工業者等、すべての団体、市民の協力を得て、農業歴史資料館の体験館、産の郷民宿村などの施設の活用方法をまとめ、総合的に検討したい。

問 旧松山町と、山形県旧松山町と友好町協約が結ばれ、本年度も予算化され実施される。旧有明町商工会でも、九州四県有明町サミットが実施され交流が行われてきた。観光面から姉妹都市協約を結ぶ計画はないか。

「志」の付く自治体とサミット

市長 旧志布志町はアメリカのシアトルと、旧

松山町はアメリカのカリフォルニア、国内では山形県旧松山町と青少年の研修交流等実施された経緯がある。本市の「志」をテーマに「志」の付く自治体に呼びかけて、まちづくり志強サミットを11月に開催したい。

小中一貫校の推進を

問 小学校から中学校への接続を考えると、教育内容、指導方法に大きな違いがあり、中学校に進んだ段階で、不登校の子が増加。対応として国も小中一貫校を特区としてモデル校を実施している。我が市も児童減少に伴い小中一貫をすべきかと思うが。

庁内に検討委員会を

教育長 小学校から中学校への移行を円滑にする方法の一つに、小中一貫校もそれなりに有益である。将来を思えば、学区の見直しや、学校統廃合を視野に庁内に検討委員会を設置し、幅広い協議、検討を行いたい。



志布志湾に浮かぶ枇榔島

バス路線廃止問題について



藤 後 議員

藤後界一議員 岩崎交通グループが、赤字バス路線の廃止届けを提出したが、志布志市の現状と影響等の詳細な情報を市民に提供すべきではなかった。

廃止路線の情報開示が足りなかった

市長 このバス路線廃止についての市民の関心が高いのは充分承知している。廃止路線の詳細をもっと情報開示すべきであった。

バス路線存続のための委託事業は赤字の肩代わりでは

問 志布志市内のバス路線は高齢者等の交通弱者

に占めて生活密着路線であるにも関わらず、便数

が多くて日に4便、少ない路線は1便しかなく、利用者離れに拍車がかかる悪循環に陥っている。

また、赤字路線に対し鹿児島県は全国第2位の3億円以上の補助金を毎年

出しているのに対し、岩崎グループは補助金は要らないから委託事業なら相談に乗るといっている。バス路線存続のための委託事業は、民間の赤字を自治体が肩代わりすることにならないか。

今、バス路線廃止の再考を岩崎に要望している

市長 バス問題は大陸総合開発財団などで対応しているが、補助金等の特段の説明はなく、現状としては路線廃止の再考を要している段階である。

共生・協働・自立のモデル事例としてバス問題解

決を

問 岩手県の幸手町や三

重県四日市市では、赤字路線バス廃止問題に直面して、住民と行政が協働してバス運営主体のNPO法人を立ち上げて、地元企業や自治会、病院等の協賛を得ながら地域生活に密着したバス事業に取り組んでいる。この先進事例に学び、市長が暗

える共生、協働、自立のまちづくりのモデル事例としてバス廃止問題に取り組む考えはないか。

大いに参考にしてバス路線対策に供したい

市長 紹介された先進事例はまさに共生、協働自立のまきこくひびであり、今後大いに参考にしたいと思う。

医療制度改革により本市から病院が消え、介護難

民が発生する可能性が

問 6月の国会で医療制度が改正されて、現在38万床ある療養病床の6割、23万床を削減すること

ともに、診療報酬も4月に引き上げられ7月にも引き上げられた。

そのために志布志市においても病院の閉院や療養病床の入院患者が行き場を失ない介護難民化する恐れや、重く悲惨な自宅介護に陥る可能性が大

さくなるが、本市の現状をどう考えているか。

市長 本市は高齢化率も高く市内の病院にも多くの入院患者がいる。医療制度が改定されると指摘のことが懸念される。国は受け皿づくりに万全の施策を講じて欲しいと切実にお願いしたい。

国は入院高齢者の受け皿に万全の施策を講じてほしい

市長 本市は高齢化率も高く市内の病院にも多くの入院患者がいる。医療制度が改定されると指摘のことが懸念される。国は受け皿づくりに万全の施策を講じて欲しいと切実にお願いしたい。

今回の医療制度改革により介護福祉行政や救急医療に多大な影響が考えられるか

問 国や県の受け皿の具体的な施策は全く不透明であるが、確実なのは療養病床から在宅医療介護に戻すことにより、介護保険が急速に膨張し悪化する

こと、経営困難による病院減少で本市が医療砂漠化することで、救急医療でも人命に関わる深刻な事態に直面することである。この問題に対する市長の対策は。

市長 指摘の事態が生じれば市民の安心・安全な生活が脅かされることになり回避しなければならぬ。現段階では国の支援措置や激変緩和策が具体的に示されていない。今後は近隣市町や県と連携を取って、国や現状の動向を見極めながら対応をしていきたい。

近隣市町や県と連携を取って、今後の動向を見極め対応していきたい

廃止が懸念されるバス



廃止が懸念されるバス

窓口業務の充実を図ろう！



小野 議員

小野広嗣議員 合併後、市民サービスを受ける一番身近な窓口業務の充実を図る上で、市民サービスの把握の仕方や今後のサービスの方向性をこのように考えているのだ。

市民サービスの向上を図りたい

市長 市長への便り、ふれあい移動市長室、各種会合などで寄せられた声を市政に反映できるように鋭意努力したい。窓口事務質疑応答集を作成し、議員の道質向上を図るとともに、接遇、電話応対マナーなど、市民サービスの向上に向け、取り組みたい。

民間企業等への

議員の派遣研修を

問 議員の民間企業などへの派遣研修を行い、民間の働き方を学んだ上で、行政コストの削減や市民サービスの充実を図ることも大切ではないか。

市民ニーズに沿った

研修は必要である

市長 民間の方々はいかに顧客の満足度を得ていくかに常に關心されている。市役所の中にもそのような意識を取り込めるような、市民ニーズに沿った研修は必要だと考える。

ホームページの

果たす役割について

問 市民への情報提供のあり方として、本ホームページの果たす役割について市長の認識を伺う。

75種業務の電子申請

窓口を開設する予定

市長 市民に親しまれ、利用されることにより、スピーディで分かりやすい情報伝達ができるホームページの構築を目指している。本年度は、印鑑登録証明交付申請など75種業務について電子申請窓口を開設する予定である。



窓口業務の充実を

市、独自の子育て

支援策の充実を

問 本市における少子化の進行状況を見るべき、単口国の施策を待つだけでなく本市独自の子育て支援策をこれまで以上に推進すべきではないか。

少子化対策には

全力で取り組む

市長 本市では、毎年20人以上の人口が自然に減少しており、まさに危惧的状况にある。少子化対策には全力で取り組む必要があるが、市が取り組む各種事業とも関係するので、総合的な取り組みが必要である。さらにこの地域における真に必要なとされる支援策について、市民の声を聞きながら子育てを地域全体で考える取り組みを加速させる必要があると考えている。

父子手帳を

配布すべきではないか

問 母親の子育ての比重

を軽へくするためには、父親の協力が何よりも必要である。母子手帳配布時に、妊婦に対する接し方、年齢ごとの子どもに対する父親の接し方等を載せた父子手帳を配布すべきではないか。

市で対応できれば

対応したい

市長 父子手帳についてはこれまで認識していなかったが、このことについては調査をし、本市で対応できるとすれば対応していきたい。

食育関連団地の

分譲について

問 大迫地区、食品関連団地の分譲に関する、企業立地促進のための優遇制度を含めた検討状況と今後の見通し、また、給食センター候補地としての考え方を伺う。

県内外からの

企業誘致を図りたい

市長 西丁会や港湾関係企業、不動産業者への情報

提供や広報・ホームページ・県土雇用ポータルへの掲載により、県内外からの企業誘致を図りたい。今後は優遇制度の案列制定に向け、検討したい。給食センター設置の候補地についてはあらかじめ設定していきたい。

英語学習の

推進状況について

問 国際港志布志港を背景にした国際情報化社会に対応する、本市の小中学校における英語学習の推進状況について伺う。

教師・学生の英語力

向上に努めたい

教育長 中学校では3人のALTを配置し、日本人英語教師とのチームティーチングを実施し、市内18校の小中学校全てにおいて、英語活動を実施している。他の教科、特に国語力とのバランスをとりながら教師の指導力向上、市内中学生の英語力向上に繋がるように指導、助成に努めている。

農業農村家業再生支援事業について



市長 同議員

長岡耕二議員 市長の施政方針の中に志布志市農業農村家業再生支援事業の創設とあるが、市長の基本的な考え方を伺う。

農業農村の再生と

活気ある集落の

維持を目指す

市長 農村の高齢化率は加速し、集落の維持すら危ぶまれているなか、志布志市農業農村家業再生プロジェクトを立ち上げ、農業の振興と安定活性化をはかり、農村の再生と活気ある集落の維持を目指す。

高齢化した中核農家の子供や孫等の新規就農を促進し、育成しようとするものである。

教育行政について

問 小中学校の今後のあり方について検討委員会



老朽化が進む八野小学校体育館

を設置し、学校区の見直しや学校統廃合などを検討することあるが、市長の基本的構想を伺う。

子供の健全な

人生の為に

市長 急速な少子化が進む中において、早急に検討しなければならぬ課題と認識している。子供たちの将来が明るく健全な人生を約束できる基

礎・基本の定着がもたれており、そのためには学校配置や学校数及び規模などについて検討しなければならないと考えられている。今後できるだけ早く諸問題の検討に入るよう教育委員会へ指示したい。

学校施設の整備計画について

問 潤ヶ野小学校の体育



潤ヶ野小学校体育館の建て替えを!

館建て替えについては3月定例会でも質問し「6月議会で間に合う」との答えを得て楽しみにしていた。

旧志布志町時代に様々な調査を終え、設計段階まで入り、学校関係者のみでなく校区住民の期待も大きいなか、今回少子化されなかつた事は残念である。

市長が変わっても行政は継続されるべきと考えるところがどうか。

耐震化優先調査を実施

市長 志布志市内の公立小中学校の校舎と屋体で全棟数、103棟のうち耐震診断調査が必要な物が61棟ある。

潤ヶ野小学校の体育館についてもかなり危険度の高いランク付けがなされているように思う。できるだけ早くこの問題の検討に入るよう教育委員会に指示し、地域の方々にも説明をしたい。

県道522号尾野見～伊崎田線(中野) 拡幅改良工事は出来ないか



本 田 議員

本田孝志議員 この県道は伊崎田地区と桃木と中村地区を結ぶ主要道路である。特に道幅が狭く軽自動車でも離合できないところがある。昔から何代も人的交流、物流交流の県道である。

中野自治会の人材は、ほとんどが農業で後継者が育っている。生産物を出荷するのにも毎日通行している。この県道拡幅工事は出来ないか。

県に今後も要望していく

市長 平成14年度から工事が中断しているが、毎年土木協会要望活動の中で要望している。

必要度・緊急度・優先度により計画されていないが今後とも要望していく。

伊崎田中学校校門の

拡幅は出来ないか

問 県道志布志～福山線に面し朝夕のラッシュ時には、大型車の通行が多く大変危険である。

特に右折車は校門に入るとき、校門から出る車があると進入することができない。また、危険でもあるので拡幅はできないか。

検討していく

市長 学校やPTAの声を聞きながら検討していく。



県道桃木伊崎田線の中野地区



伊崎田中学校の校門

式掲示板に改修できないか。

対策を検討する

市長 少子化により選手確保が難しいため、スコアボードに選手を確保出来ない状況であれば、かなりの対策をしなければならぬと考える。



市営有明野球場
改修について

問 少子化の中、現在の施設では各チームより数名ずつスコアボード係を出す必要があり、選手数の少ないチームにあっては負担になっている。電光式掲示板にする事により負担の軽減が図れ、少人数のチーム同士の試合もスムーズに進行できると思うが、市営有明野球場のスコアボードを電光



市営有明野球場

志布志市の水は安全か？



西江園 議員

環境の保全には、健全な水環境が不可欠である。市の水は安全か。

西江園議員 最近の水質基準にない未知の有害物質や細菌類が発見され、健康への影響が懸念されている。今回は、その有害物質の中の硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素について問う。この硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素とは、どのような物質か？

市長 硝酸態窒素は、そのままの形態では毒性は有しないが、人体の中に

おいて、条件によりその一部が毒性を有する亜硝酸態窒素に還元される。

この発生源は、自然界の作用等もあるが、窒素分を含む化学肥料、廃棄物や生活雑排水といわれ、これが地下水や水道水に滲入してくる。この物質の健康への影響としては、多量に亜硝酸態窒素を体内に吸収するとチアノーゼ症状の原因ともいわれる。また亜硝酸態窒素は、胃の内容物としてN-ニトロ化合物は、動物に対して発ガン性を有することから、免疫学的な証拠はないが、人に対しても発ガン性を有する可能性があるとされている。

湧水場の水質は？

同 市内各地にある湧水場を多くの市民が飲み水として利用しているが、水質検査を実施したことが

あるか。

行政と個人で実施している！

市長 旧志布志町で六カ所あり、平成15年度に保健所に依頼した。旧有明町には三カ所あり、個人で保健所に検査依頼し、一般に利用開放している。

市内各地の湧水場を市としてどのように考えているか？

同 土地の所有権の問題もあると思うが、市として今後これらの湧水場をどのように考えているか。

個人や集落で管理を！

市長 湧水場は私有地や集落等の共有地である。志布志地区の文化的な意味合いを持つところは景

観上の保全はするが、その他は今まで通り個人や集落に管理していただきたい。個人でも検査結果を公表しても良いとの了解があれば市で検査する。

水道水の水質は？

同 市民のライフラインである水道水には、どのくらいの硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素を含んでいるのか？

志布志大迫系平均八、〇
有明西部系平均六、五
松山泰野系平均六、二

水道局長 亜硝酸態窒素は、給水人口二万人を超える水源の監視項目で、

志布志の大迫水源池のみが対象で、基準値〇、〇五に対して〇、〇〇五未満であり、硝酸態窒素も基準値一〇ppmに対して三町とも希釈して値を落とされている。

もっと情報公開を！

同 情報不足が市民に不安を与え疑心暗鬼になっ

てしまつた。人間が生きていく上で最も大切な水のここであるので、懸念されることを今の状況を公開すべきではないか。

同 国・県が実施する港湾事業や畑かん事業に毎年市は大きな負担金を強いられ、完成後は管理に相当な事業費を要している。市長は負担金を出すばかりでなく、納税者である地元業者が少しでも多く受注出来るように、



湧水御前の水(旧志布志町)

広報紙に掲載する

市長 湧水については、個人の了解が必要だが、水道水については、広報紙に掲載する。

国や県の発注機関に働きかけるべきではないか。

強力をお願いする！

国・県発注の公共工事の地元業者受注をもっと増やす努力を

市長 農水産物、地元活性化の観点から市内業者を指名に入れた発注を国・県へ強くお願いしていく所存である。

AED(自動体外式除細動器)導入について



丸山議員

丸山 一議員 AEDの導入については、旧有明町の平成16年12月議会で具体的な対応として、消防行や県の指示あるいは消防組合等を言めて検討するとのことであったが、なぜ導入されていないのか。



自動体外式除細動器

学童保育について保護者負担の一元化は出来ないか

市長 大雨のたびにこの地域は深刻な状況になる事は把握しているのですが、関係する国、県とも十分



新若浜港理め立て緑地にサッカー場を！



まだ具体的な

検討はしていないが

市長 施政方針の基本的な考え方である安全、安心、健康で住みよいまちづくりの視点から、具体的な必要性を言めて検討していきたい。

心肺停止になった人が社会復帰出来た事例もある

問 健康づくりや介護予防の意味からも多くの高齢者が参加される大会に必要と思うが。

いつ導入すべきか

協議する

市長 当地区の消防組合では順次整備されているので、関係機関と協議する。

問 学童保育の保護者負担の一元化は、新市発足時にはされているのが当然と考えるが。

19年度から安心して利用できる料金体系にしたい

市長 文部科学省と厚生労働省の放課後対策事業の連携が決定したため、国・県の動向を見ながら対応する。

一丁田・通山地区の総合的な排水対策について

問 旧大隅線、町境の線路跡地が度々冠水するが、抜本的な対策はこうするの否か。

過疎自立促進計画の中で今後対策を検討したい

協議をして抜本的な対策を考える。

スポーツ振興対策として多面のサッカー場をつくらぬか

問 県のサッカー協会に所属するチームは216

である。夏場の志布志町サッカーフェスティバルには、京都府からの4校をはじめとして県外27校県内33校の60校が参加して夏合宿をしている。しかもその経済効果は2、100万円にもなり、競技場が4面でも建設され

はその波及効果は計り知れないものがある。市長の見解は。

長期的な課題として 取り組む

市長 本市におけるスポーツ全体の推進を図り、地域活性化するためにも、サッカー場の整備は一つの手段である。

青少年育成のためにも競技場建設をという市民の要望には

問 ちびっ子や子供達が心豊かに育ち、健康に成長するためにも、是非、競技場をこころえるが。

スポーツ振興に有利な地域であると認識している

市長 全国的な大会が誘致できるような整備を考えている。

住みよいまちづくりに ボランティアの力を



岩根 議員

岩根 議員 安全安心で住みよいまちづくりは行政の最重要課題のひとつである。財政がひっばくする中、なにもかも行政でまかなうことができない時代になってきている。そんな中、ボランティアの力は欠かせないものになっている。社会福祉協議会や文化会館にあるボランティアセンターの機能に横のつながりを持たせ、福祉やまちづくり、生涯学習まで拡大し、さらに充実させるべきではないか。

ネットワークを強化して進めていく

市長 今後団塊の世代が退職するにつれて、その優秀な人材がボランティアやネットワークに取り込み、活動の活性化を図っていくべきだ。地域包括支援センター

ターや各種ボランティアグループ、民生委員、児童委員、老人クラブ等とのネットワークをさらに充実させ、独居や高齢老人等の見守り活動に努めない。また災害時の対応等についてもボランティア活動センターと情報交換しながらネットワーク化に努め、安全安心で住みよいまちづくりを進めていきたい。

地域通貨の活用策は

問 ボランティアの輪を広げ「結び」の心を目に見える形にするため、「地域通貨」に市として取り組む考えはないか。

機運の高まりを待つ

市長 「地域通貨」はお互いに助け合い、支えあうサービスマネジメントやポイント数等に置き換え、これを通貨として別なシステムで、一定の地域のみで通用し、循環することで価値を生み出すシステムと理解している。ボランティアア

グループの中でその機運が高まれば前向きに検討したい。

教育委員会はボランティアにどう取り組むのか

問 教育委員会はボランティア活動を通じて地域とどう関わっていくのか。また、エコクラブについてはどう取り組むのか。

積極的に活動を支援する

教育委員 生涯学習講座や創年市民大学等に参加して活動することも立派な



ボランティア活動である。子ども会育成会、PTA、女性会等の活動も支援し、また学校を通じて積極的に活動し、人の痛みのわかる子どもに成長してくれるよう指導していく。

エコクラブについて 今後の取り組み方について学校で指導していく。

障害者の車輦改造に

助成を

問 障害者の社会参加を促す観点から、車輦改造に対する助成策は考えられないか。

実施の方向で検討する

市長 障害者自立支援法の施行に伴い移動支援事業としてメニュー化されたので、実施する方向で検討したい。

みなと祭り後のボランティア活動

問 志布志市が国際交流都市として全

国や世界に向けて情報発信する気持があるのなら、ホームページをもっと充実すべきではないか。またホームページでは市民が得たい情報を正しく、早く、わかりやすく伝えるべきではないか。

早急に体制を作りたい

市長 今までのホームページが充実していなかったことについては申し訳なく思う。今後はそのことを充分認識した上で各課の担当する情報をいつもチェックし、最新の情報が掲載できるように体制を整えたい。

広く情報の公開を

問 ホームページで市長の交際費や入札状況等を公開できないか。

交際費の公開を検討する

市長 公平公正で透明性の高い市政を展開していくべきという意味から交際費等を公表できるよう検討したい。

市職員の接遇について



重永 議員

重永 議員 議員としての責務はいうまでもなく、行政への批判監視やエック機能である。今年3ヶ月前が合併し、市民が合併して良かったと評価されるのは、市役所に用事で来られた時の、先ず職員の対応ではないかと思う。それが欠けた職員が多いと苦情を聞いている。合併して良かったといわれるように、ここで立ち止まって振り返り、今、何が一番望まれているのか。私は市民が安心して役所で用事を済まされるためには職員の行政サービス、窓口サービスだと確信している。市長の市民の目標とは幅広いものがあると思うが、一番先に目標を落とすのが市民への目配り、気配りではないかと思う。その対策をどのように考えているか。

毎月の職員朝礼等を通して指導していく

市長 職員の窓口業務はさきより、日中業務における市民に対する応接や電話での対応を重点検して、親切で、目配り、気配りのある態度で接し、誠実に対応するなど、接遇態度の向上に努めるべきである。職員自らの行動が公務の信用に影響を与えていることを認識するとともに、自分を明らかにするためにも、ネームプレート等を着用し、職員としての自覚と心構

えを保持しておく必要があると考えている。接遇については、毎月の職員朝礼等において、市民に開かれた市民の目標に立った行政の執行と親切丁寧な対応を的確、かつ迅速な対応をお願いしているようにある。

接遇向上のために、サービス向上委員会を設置は

問 これは私の問題提起であるが、助役を委員会の委員長、各部長を委員として、住民への窓口サービス向上にマ



住民サービス窓口風景



毎月はじめの朝礼風景

ニユアルを作成して、月に一回位そのマニュアルに対しての教育の成果、反省点、指導を行うことが大事と思う。また、この向上委員会、子舞も経費も必要なく住民への接遇に最少の経費で最大の効果があると思うが、設置の考えは。

又向上委員会なるものを設置して、その向上に向けて検討しながら実践していくやり方もひとつのやり方だというふうに考えるので、サービス向上委員会の設置等も含めまして接遇向上に向けての改善策を検討していきたいと思う。

機連の高まりを待つて

市長 提案されたサービス



教育改革は大きな役目 責務だと思っている



上野議員

学校運営協議会制度の導入は

問 参与方式の評議会制度は、校長が絶対的な権限を持っている。家庭、地域にも、ある程度の力を持つ関与方式の学校運営協議会制度を導入すべきではないか。

評議員制度の成果を見て

教育長 このことは国の改革の中で十分感じられる。市内の学校は、まだ健全だと思っているのでも、まずは評議員制度の成果を見てからと書いている。もしでもまだ校長がいれば、機会あるごとに精査していく。

県道六三三号線の

歩道の設置は

問 宇尾交差点から黒碓自治会入り口まで、園児・小・中学生33名が通っている。過去10年間で二回の陳情が出されているが、協議会制度がないため陳情提出に大変難儀をした経緯がある。歩道の設置の考えはないか。

市長 19年度末には高規格道路の宇尾インターチェンジも開通するので、大型車の交通量が増える。県へ改めて陳情する。

改めて陳情する

学校経営について

教職員に個人プレーからチームプレーへ

問 学校も組織である以上、急激な社会の変化に対して組織的な対応が必要だと考えている。教職員に個人プレーからチームプレーへの意識転換する考えはないか。

積極的に取り組む

教育長 一部職員に乱れはあるが、学校は組織体であり、日々成長する子

供たちが中心とすることである。これを常に意識して、学校の課題解決に積極的に取り組む、繰り返し指導していく。

学校評価の取り組みは

問 学校経営の概要のなかに、目指す学校像、目指す子供像、目指す教師像の目標達成の主な努力とあるが、評価に関することが書いていない。

明確に示す時代である

教育長 目標に対して成果がどれほど近づいたか、明確に示す時代、それが市民に対する大きな役目、責務と思っている。

説明責任が必要では

問 学校は税金によって運営されている。地域の人々や保護者に愛され、支えられ、育てられるのが本来の学校の姿である。説明責任が必要ではないか。

学校経営として大事なことは

教育長 どういう経過をとって、どういつ過程を持って、どういふ言葉があったか、そして「ここに立ち至ったかを明らかにする。そしてきちんと説明責任を果たして、市民に協力、ご理解をいただくことが学校経営の姿勢として大事なところである。

教職員の情熱と決意が必要

問 学校経営の改革には教職員の情熱と決意が必要と考えている。教育長の考えは。

情熱と決意は大変重要

教育長 市の教職員は400名近くいるが、大部分の職員が使命感に燃えて、日々努力している。教育は生徒の指導に直接関わる教職員の力量に負うところが極めて大きいと認識しているため、教職員の資質向上を重要課題のひとつとしている。



県道53号線宇尾～黒碓

介護保険料の引き下げを国に



小 園 議員

小園執行議員 3月議会で介護保険料の引き上げが提案されているので一般会計から繰り入れをして引き上げをやめるべきとの質問に、市長は一般財源を介護保険料の引き下げのために充てる事はできないと答弁している。その法的根拠は何か。

国の通知がある。

市長 保険料の単独減免について特に一般財源の繰り入れについては厚労省から通知が来ている。

福祉部長 厚労省が示している単独減免に対する三原則の一つが保険料減免分に対する一般財源が



介護保険事業の一環 ふれあい祭り

ら繰り入れについては適当でないので各保険者(志布志市)において適正に対処するようお願いの通知で一般会計からの繰り入れが出来ないという解釈にたっている。

問 介護保険は自治事務か、受託事務か。

福祉部長 自治事務である。

る。

市独自で負担の

軽減を図るべき

問 自治事務であれば国が地方自治体に関与する場合には地方自治法では助成者しくは助成、是正の要求に限定されている。この事について国費で

のやりとり(議事録)がある。その中で国は明確に地方自治体が自治法上、国にしたがうべき義務はないと解釈をされていると言っている。その時の坂口厚生大臣も「三原則をのみ出ているから絶対駄目だ、やめると言う事案では言っていない」と言っている。一般会計からの繰り入れで住民の負担軽減を図る考えはないか。

これまでと

同じ考えである

市長 3月議会でも答弁したとおり一般会計からの繰り入れについては行うべきでないと考えているので理解をしてほしい。

障害者自立支援法施行の影響はどうか

問 障害者施設等を利用する時に定率一割の負担導入を決めた障害者自立支援法が施行後2か月が過ぎた。障害者や施設の影響はないか。

制度の浸透を見極めてまいる。

福祉部長 障害者個々への影響については制度の浸透を見極めながら状況の把握に努めたい。市の負担として施設関係で制度開始後ひと月分で353万円減少している。

低所得者対策を図るべき

と思つがどうか

問 一割負担の導入とあわせて負担の軽減措置もされているが、今まで無料であったのが低所得区分の段階で年間18万円の負担になる。全国の市町村で実施しているように独自の軽減策を本市でも実施して障害者の自立を支援する考えはないか。

状況が明らかになれば調査研究する

市長 具体的な把握ができていないが、状況が明らかになれば市として独自になんらかの軽減策導入を、ほかの市町村がどのような形で導入したのかも含めて調査研究したい。

乳幼児医療6歳まで

無料の考えはないか

問 乳幼児医療費助成を拡充していく事を施設方針でも述べている。0歳から6歳までの助成は住民税非課税世帯では全額補助になっている。住民税課税世帯では3,000円までは自己負担であり、3,000円を超えた分については補助している。課税世帯の3,000円以内も助成して0歳から6歳までの医療費を無料にして子育て支援を拡げてゆく考えはないか。また、全て無料にした時どれくらい必要か。

総合的に検討する

福祉部長 年間ベースで1,500万円程度の額になる。

市長 6歳まで無料にするとして、500万円程度必要との事だが、子育て日本一のまちづくりの中で総合的に検討していく。

時の流れは早いもので、新生志布志市が誕生して六カ月が経ちました。2月21日、初議会が開催されましたが、市民の付託に応えられるよう新市発展の為、議員としての責務を果たす決意であります。本田修一市長の所信表明と施政方針をはじめ、過疎地域自立促進計画（平成18年1月1日から22年3月31日）の方針など、これからの新市のまろくくが提案されま

した。
これからの議会と議員の役割として考えますと、新市の課題は、現在、新若浜地区において、多目的な国際ターミナルの整備が進められ、九州唯一の中核国際港として、その機能を十分に発揮させることです。また、若浜地区の立地企業の繁栄は勿論の事、更なる規模拡大させる為には、広大な農地と温暖な気候を生かした、県内有数の特色ある農業や畜産等の地場産業の振興が重要であると

考えます。

議員控室 「議会と議員の役割と責務」

若松良雄

更に二十一世紀は、環境の時代だと思います。これ以上の環境悪化をくい止め、地域住民が安全で安心できる生活環境の整備に取り組み、住民福祉向上と地域社会の発展に努力することが、役割だとおもいます。

最近が、都市と地方、勝ち組、負け組み等、格差は当たり前のような時代となつてきました。このよきな時に「心の教育」、それは道徳教育を充実させる政策が、行政に求められる

と思います。私達議員は市民全体の奉仕者であり、住民を代表して、時には行政を批判し、進むべき方向性を提言しながら、行政を合理的、効率的に執行させ、監視する事が責務であります。また、議会が指摘した事項が、その方向で改善されることを議員として念じているものであります。

傍聴席

旧有明町婦人会は志布志市女性連絡協議会有明支部として心新たに発足致しました。

まず、学習の一端として議会傍聴したいと思います。30名が参加しました。

なかには議会傍聴は、勿論、新庁舎見学も初めての会員も数名おりました。物音一つしない静まり返った会場へ恐る恐る入り定刻までの間、皆緊張感に包まれていました。さらに10時の時報と同時に発せられた谷口議長さんの開会の声に一段と緊張感が高まりました。

初めの質問は、志布志市の玄関口であります港の問題、少子化に伴う教育問題等、皆関心があり熱心に聞き入っていました。そして、徐々に気持ちも落ち着いてきたのでしようか、時折、やさしく優しい視線が二三名の議席の方へ向けられていたようです。

「一人の女性議員ではさびしいね？」未来に輝く志布志市、安心安全の住み心地の良いふるさとを目指して真剣に質問答弁される姿勢内容にうなずきながら「よろしくお願いします」と云う気持ちになりました。同時に私達女性達にも、何か出来るはず、その意欲をますます高めるためにも学び行動することが大切であるとの声が上がりました。すべての議員さん方の質問を傍聴出来たら一層その念を強くしたと思います。これからも常に地域、住民の声に前向きにお互いに共通点を見出しながらの姿勢で議論して頂きますことを願いながら午後の市内見学に向けて議場を後に致しました。

編集後記

★「ああ、もったいなわ。」と妊娠姿の母が生前よく口にしていた。香古した香物をほどこき前掛けをよく縫っていた。

★去年の愛、地球博でケニア副首相ワンガリ・マタイ氏が全世界にアピール。瞬く間に有名になった言葉「もったいなわ」

★七月三日女性五人目の滋養県知事、嘉田由紀子氏誕生。その立役者「そ」もったいなわ」の言葉。この言葉は充分聞きなれていたはず。でもドーンと太鼓が耳に波のごとく響いた。胸が打たれた。

★以前、あるご任職の聴聞に出かけた。「勿体ない」とは仏教思想からできたことばで天地生物の万物の物体のもともともつては打を損なうこと。人が人としての優打を輝かせることなくして一生を閉じること。

★私は「人が人として」という言葉が好きである。この言葉は私たちが命を言ひついでつぎつづけられた最大の課題であり、使命であり、また時にはそれは救いでもあるように、私は思う。人が人として、輝やける社会になるよう努めたい。

志布志市女性連絡協議会

青明町支局長 板添登美子

広報調査特別委員長

鶴迫京子